

さとわ

No.19

さとわ

緩和ケア病棟「郷和」理念

1. 豊かな自然環境の中で、その人の気持ちに添ってケアするとともにその家族を支援します。
2. その人のもつ苦痛の緩和につとめます。
3. その人の希望に添って自宅での生活を支援します。



施設長 篠川 主

コロナ禍での郷和の歩み

新型コロナに関する内容はもう触れたくないと思っておりましたが、郷和で職務に就いている限り関わらざるを得ない問題です。嚴重な感染対策に皆様にも御協力を頂いておりましたが、第8波では郷和においてもPCR陽性者が1名発生致しました。しばらく入院制限することを求められ、大勢の方に御迷惑をお掛け致しました。幸いPCRは陰性化し郷和で新型コロナの犠牲になられた方はこれまでありません。こうした事例を踏まえ面会制限も一時厳しくなりました。入院された方にお会いしたいという切実な御希望にお答えできないことで、感染対策と緩和ケアの使命感の板挟みで、スタッフも切ない思いを抱えてまいりました。そして何とか皆様の思いにお答えしたいと、機会を見て面会制限の緩和に努めてまいりました。令和5年5月8日より新型コロナは、第5類感染症に位置付けが変更されました。面会制限を新型コロナの発生前に戻すことを期待される方も多いと思いますが、新型コロナが消えて無くなったわけではなく、感染者は増加し第9波が

出現する可能性も予測されています。犠牲になるのは高齢者や基礎疾患のある方が主体です。今後も緩和ケア病棟の本来の存在意義を踏まえ、市中の感染動向に十分注意しつつ感染対策の緩和を計っていきます。引き続き病棟の感染対策には皆様に御協力をお願い申し上げます。

これまでボランティアの方々にも活動を自粛して頂きましたが、病棟外の作業を開始して頂いております。病棟内での活動に意欲の高い方ばかりですので、その思いにもお答えできるようになりたいと願っています。

毎月の病棟行事はスタッフが継続し、コロナ禍に野菜の栽培も少しずつ拡大してきました。本年は7月に遺族会も再開する予定で準備しておりますし、9月には看護師を対象に研修会を予定しております。

早く新型コロナの感染が落ち着き、郷和の日常が以前に戻り、皆様が不自由無く郷和に関わって頂ける時が来ることを祈っております。

寄り添う

南部郷厚生病院 医療相談員
高嶋 飛来

今年の4月より相談員として入職しました高嶋です。まだまだ経験が浅く皆様から学ばせていただいておりますが、患者様・ご家族様の心理的・社会的問題が解決できるよう、その方に合わせた援助と一緒に考えております。

私は、新人であることもあり入院相談の見学や実際に相談業務を行わせていただいております。相談業務を行う上で心掛けていることは、患者様・ご家族様に寄り添うことです。相談に来られる方の中には不安を抱えている方が多く、医師からの病状説明等により涙を流される方もいます。そのような方に対して当院スタッフと共に、お話をよく聴いて、寄り添い、専門性を生かした支援により安心した表情を浮かべる患者様・ご家族様を何度も見させていただいています。患者様・ご家族様との信頼関係を大切にしながら日々の相談業務を行っていきたく思います。

また、「郷和」は自然豊かな環境にあり、病室や談話室からも緑等、四季による景色を感じることができます。病棟の天井も高く、広い作りでホテルのようになっており、私も「郷和」という場所が好きです。今後も「郷和」が患者様・ご家族様にとって安らぎの場所となるよう努力して参ります。

緩和に勤務して

南部郷厚生病院 緩和ケア病棟 看護師
水上 雄太

私は急性期病院で急性期看護を経験し、その後介護老人福祉施設での施設看護を経て、今年4月から緩和で勤務しています。郷和は急性期看護や施設看護と違って、がんの痛みを和らげるための鎮痛剤を使っている患者さんが多くいらっしゃいます。痛みが辛い患者さんに対して正しく鎮痛剤を使うことはとても重要です。それと同じように、患者さんが「痛い」「苦しい」「つらい」などの気持ちを伝えられるような存在になること、また自分で症状を伝えられない患者さんにはこちらから気持ちを汲み取って対応することが看護師の重要な役割だと感じました。そのためにも、患者さんひとりひとりが郷和で過ごされることについての考えや思いを尊重しながら看護をしていきたいと思っております。



ボランティア係より

南部郷厚生病院 緩和ケア病棟 看護師
金子 かおり

新型コロナウイルス感染拡大により休止していたボランティア活動ですが、春の庭の手入れから活動を再開しました。草取り、植木の剪定など行っております。今後は少しずつ活動を拡大し、以前のような活動に戻していく日が来ることを楽しみにしております。

遺族会係より

南部郷厚生病院 緩和ケア病棟 看護師
熊倉 友子

昨年度に予定していた遺族会は新型コロナウイルス感染症の爆発的拡大により、やむなく中止となりました。今年度は7月と秋の2回にわけて実施する予定で計画を進めているところです。無事に遺族会が開催されることを祈っております。

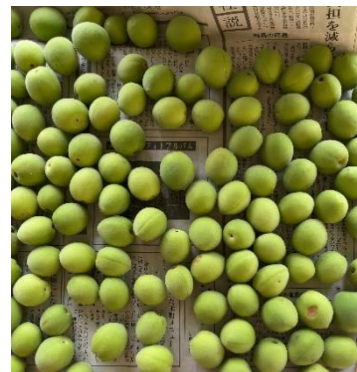
郷和の庭の様子をお伝えしたいと思います。郷和の庭には様々な草木が植わり、四季折々の変化を見せてくれています。患者さんに四季を感じてもらったり、花々の咲き誇る庭を散歩することでつらい療養生活の中で気分転換を図ってもらったりしています。プランターでは野菜の栽培もしています。患者さんに収穫体験や、とれたての野菜を味わっていただいています。患者さんに大変喜ばれています。野菜植え付けや管理は施設長自ら行っています。スタッフも肥料を与えたり、水やりをしています。野菜たちがいっぱい実をつけて、患者さんに喜んでもらえるようにと頑張っています。



庭には池もあり、メダカが元気に泳ぎ回っています。先日はスタッフで池の大掃除を行いました。



梅も実をつけました。今年は豊作です。梅シロップや梅干しなどを作って患者さんに味わってもらう予定です。



秋にはかりんも実をつけます。実をベッドサイドに置いて、かりんの香りをかいていた患者さんもうらっしゃいました。自然豊かな環境での療養は患者さんやご家族に大変喜ばれています。

郷和の庭の様子を感じていただけましたか？秋には玄関先のドウダンツツジが真っ赤に染まります。素敵な環境で療養していただけるようスタッフ一同努めてまいります。



2022年度 実施行事

4月	お花見	10月	押し花コースター作り
5月	笹団子作り		焼き芋
6月	菖蒲湯	11月	クッキー作り
	梅シューズ作り	12月	クリスマス会
7月	七夕まつり	1月	鏡開き、お汁粉作り
9月	お月見	2月	豆まき、紙芝居
	秋祭り	3月	ひな祭り

「郷和」利用状況

(2022年4月～2023年3月)

入院患者数	44人
-------	-----

退院患者数	45人
(死亡退院)	45人

一日平均入院利用者数	14.0人
------------	-------

平均病床利用率	70.2%
---------	-------

平均在院日数	115.1日
--------	--------

発行年月日 2023年6月15日

編集・発行 南部郷厚生病院

緩和ケア病棟「郷和」

〒959-1765 新潟県五泉市愛宕甲2925-2

TEL(0250)58-6111(代) FAX(0250)58-7300

ホームページ <https://www.sinjinkai.or.jp/kanwa/>

メールアドレス kosei@sinjinkai.or.jp

